

主催報告

関東支部 平成 27 年度 第 1 回油化学セミナー 開催報告

株式会社 ADEKA 山 下 敦 史

平成 27 年 5 月 22 日（金）、東京海洋大学 白鷹館にて第 1 回油化学セミナーを開催しました。今回のセミナーは「イグノーベル賞に学ぶ、心の琴線にふれるものづくり」と題し、斬新かつユニークな着想を現実化しイグノーベル賞を受賞されたお二人の先生にご講演頂きました。なお、参加者は 52 名でした。

北海道大学電子科学研究所の中垣俊之先生は 2008 年と 2010 年の 2 度にわたりイグノーベル賞を受賞されており、「単細胞生物粘菌の賢さを探る—生命情報処理の物質的基盤—」のタイトルで、粘菌の迷路解きが、簡単な運動方程式で表せることについてお話頂きました。迷路の 2 か所に設置されたエサ場に対し、最短経路でこれらを結ぶように行き止まりや回り道となる経路から粘菌が移動する様子を撮影した動画や、この特性を生かした鉄道網のモデル実験や、カーナビの新規計算方法への応用は大変興味深い内容でした。

2013 年に同賞を受賞された石川県立大学学長の熊谷英彦先生には「タマネギが涙を出させる生化学的な過程」の演題でご講演頂きました。タマネギの催涙成分の前駆体がニンニクにも存在することに着目したことから始まったこの研究では、酵素の精製やクローニングを経て、タマネギにのみ起きる酵素反応によって催涙成分が生



講演される中垣先生

成されることを明らかにされており、さらには切っても涙の出ないタマネギの開発に成功されたとのことをお話頂きました。

新たな発想やオリジナリティー溢れる成果は、科学を楽しむ心から生まれるのだろうと感じさせられる、大変有意義なセミナーであったと思います。



講演される熊谷先生



セミナーの様子